

日 時：平成 16 年 7 月 14 日 17:30～19:30

場 所：日本建築学会北海道支部事務所（大通ダイヤビル）

出席者：支部長：城

常議員：石塚、小幡、菊地、向山、飯田、杉山、高橋、塚田、鳥谷部、南出

事務局：菊地

配布資料

【報告・承認事項】

2004 年度第 1 回常議員会議事録（案）	・・・資料 2 - 1
7 月理事会案	・・・資料 2 - 2
支部長会議	・・・資料 2 - 3
第 77 回支部研究発表会について	
2004 年度日本建築学会大会について	
石狩市より調査委託研究	・・・資料 2 - 4
後援依頼	・・・回覧資料
平成 16 年度道内工業高校卒業設計優秀作品巡回展示	

【議題】

北海道建築設計会議・共通事業について	・・・資料 2 - 5
常議員の役割分担について	・・・資料 2 - 6
2005 年度特色ある支部活動企画募集について	・・・資料 2 - 3
市民講座WG について	・・・資料 2 - 3
その他	

議事内容

【報告・承認事項】

2004 年度第 1 回常議員会議事録（案）（南出 / 資料 2 - 1）

- ・承認された。

理事会議報告（城 / 資料 2 - 2）

- ・会員の動向についての報告。現在、北海道内の会員数は 936 名。
- ・英文論文集委員会より - 現在、日本・韓国・中国の 3 国で共同発行しているが、韓国、中国には各 100 部、無料配布となっている。提出国による論文の差が大きい。
- ・2004 年度大会の理事の役割分担説明。
- ・CPD 制度の現状、遠隔地配信システムについての説明。

支部長会議報告（城 / 資料 2 - 3）

第 77 回支部研究発表会（菊地）

- ・参加者：講演会約 200 名、特別企画約 130 名、懇親会約 66 名の参加があった。

2004 年度日本建築学会大会について（石塚）

- ・現状では大きなトラブルはなく順調。会長の日程、等を報告。
- ・ポスター、パンフレットのゲラ刷りを回覧（城）。
- ・6 月 30 日の記者会見では建設系新聞社 2 社が参加（城）。

石狩市より調査委託研究について（城、資料 2 - 4）

- ・了承された。

後援依頼について（回覧資料）

- ・第 29 回「北の住まい住宅設計コンペ」（主催：北海道建築設計事務所協会） 了承された。

- ・ 「サムノグチ ランドスケープへの旅」(主催：札幌市公用緑化協会，モエレ公園の活性化を考える会) 了承された。

平成 16 年度道内工業高校卒業設計優秀作品巡回展示について(高橋)

6 月～12 月道内 13 の工業高校を巡回することが報告された。

【議題】

北海道建築設計会議・共通事業について(向山 資料 2 - 5)

- ・ 学会大会に合わせて開催される北海道建設部主催の赤レンガ建築展(仮称)について説明があり，北海道建築設計会議が共催し，支部としては過去の北海道建築賞受賞作品のパネルを受賞者に製作を依頼し，展示を計画。対象は 30 作品程度と考えられる。出品者には展示従量料を負担して貰い，支部の経済的負担を極力少なくする方向で基本的に了承。
- ・ 意見として，パネル枚数が多すぎないか？ 展示空間の窓を塞がないよう配慮が必要，などが出された。

各常議員の役割分担について(向山 資料 2 - 6)

- ・ 資料 2 - 6，北海道建築設計会議に南出委員が加わることで承認。また，提案された支部組織構成図に対して，総会時の資料の図と異なっているため配慮が必要ではないか？との意見があったが，規定された組織の改変ではないので問題ない，とのことであつた。

2005 年度特色ある支部活動企画募集について(城 資料 2 - 7)

- ・ 資料 2 - 3 より過去の企画について説明。北海道支部としても企画を提出すべきであり，学術委員会へ送り，9 月中旬を目処に提案してもらいたい。また，単年度ではなく中長期的に考えるべきとの意向が示された。
- ・ 成果報告の方法については，前回(2001 年度)は支部総会で報告された，とのこと。

市民講座WGについて(城)

- ・ 本部災害委員会からの要請による災害軽減のための市民啓蒙活動のための「市民講座企画WG」に委員 1 人を推薦する件は都市防災専門委員会にゆだねる。
- ・ 「大災害に対する災害調査体制整備」に関する支部の整備状況を本部へ報告する作業も，都市防災専門委員会にゆだねる。

その他(城)

- ・ 常議員会や各専門委員会では，単年度毎だけではなく，長いスパンでものを考える視点が必要。
- ・ 現在ある 8 つの専門委員会が出来て相当の年数が経つので見直し，再構築について検討したい。
- ・ 支所の活動がもっと必要ではないか。例えば函館など。
- ・ 各事業委員会に出席を希望。
- ・ 支部功労賞の検討は，次回の議題とする。

以上